



瑞雲

学校だより

昭島市立瑞雲中学校

校長 定森 夏子

令和7年 9月 1日

想像する力を伸ばそう ～実りの秋、心の成長に向けて～

校長 定森 夏子

記録的な猛暑の夏でした。まだまだ暑さが厳しい中での2学期のスタートとなりましたが、夏休み中の大きな事故や事件等もなく、思い思いの夏休みを過ごせたことと思います。7月のハイツまつりでは、瑞雲中生がボランティアとして大活躍する姿を見ることができました。自ら地域の活動に参加する生徒がたくさんいるのが瑞雲中学校の良さだと改めて感じました。瑞雲中生とのつながりを大切に、見守ってくださる保護者や地域の皆様に深く感謝申し上げます。

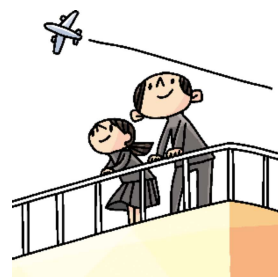
8月は日本の歴史の中で重要な日が多くあります。今年は戦後80年ということでのニュースや報道が多くあり、見た人もいるでしょう。経験したことがない、過去の出来事や、今現在、日本の各地、世界の様々な国や地域で起こっている出来事について“もしも自分だったら…”と想像してみたいと思います。中学生の皆さんには色々な力があります。その中でもこの「想像する力」はとても大切だと思っています。

『女の子たち風船爆弾をつくる』という本があります。第2次世界大戦中、風船爆弾という秘密兵器をつくるために集められた女学校の生徒たちの、実話をもとにしたお話です。この本もぜひ読んでみたいのですが、作者の小林エリカさんがこの夏あるインタビューでこんな風に語っています。『実のところ、本を書き終えてなお、私は体験者の方たちのことを、本当にはわかることはできません。また、それを想像することすら不可能である、ということも私は知っています。けれど、それでも、想像しようとし続ける、努力し続けることはできる。私はそう信じています。』皆さんは家でも学校でも「考えなさい」と言われると思います。でも、「考えて」と言われると、難しく感じたり、正しいことを考えなければいけないと感じたりしませんか？ですから、まずは「想像して」もらいたいのです。想像するということは、自由に思い浮かべることです。誰でもどこでもできますが、想像することはとても大事です。想像することは、知ることや考えること、そして心の成長につながります。

相手の気持ちや立場を想像する、自分が体験したことがないことについて想像する。2学期は色々なことを「想像して」大いに想像する力を伸ばしていきましょう。もちろん、好きなことや楽しいこともたくさん想像してください。12月25日の終業式の日になっていたい自分の姿を想像して、2学期の生活をスタートしましょう。

夏休み中、またはこれから何か困ったことがあった場合には担任、学年担当等いつでも学校にご連絡ください。2学期も保護者、地域の皆様と共に生徒の成長を支えていきます。どうぞご理解とご支援をお願いいたします。

【始業式講話より一部抜粋】



生徒の活躍

吹奏楽部 第65回東京都中学生吹奏楽コンクール B組 銅賞

陸上競技部

第64回東京都中学校総合体育大会陸上競技大会 3年男子100m 第8位入賞

第71回全日本中学校通信陸上競技大会東京都大会 3年男子100m 第7位入賞

サッカー部 昭島市市民大会U-15 準優勝

予選リーグ2勝 1位通過 決勝戦 VS 拝島中 0-3



消防署の救命救急講座を受講しました

瑞雲中学校では年に複数回、養護教諭を中心に様々な緊急時を想定した対応研修を実施しています。今年も夏休み期間中、消防署の方をお招きして心肺蘇生法と AED の使用方法を改めて確認しました。2学期以降も教職員一同、安全安心な学校生活づくりを意識していきます。



「ハイツまつり」ボランティア

ハイツまつり名物カレーうどんの調理・販売や、お祭りの運営に関わるボランティアに参加しました。瑞雲中には積極的に自らできることを考え、行動できる生徒がたくさんいます。

ボランティア部

カレーの仕込みを担当しました。

中央委員会

調理・販売を担当しました。

有志の生徒

会場アナウンスやその他お店での販売など多くの生徒が参加してくれました。

吹奏楽部

熱々の生演奏を披露しました。